

平成22年7月14日

2010年度駒沢女子大学人間健康学部健康栄養学科入学試験における出題ミスについて

駒沢女子大学
学長 戸田洋樹

2010年度駒沢女子大学人間健康学部スカラシップ特別入学試験、および同一般入学試験B日程の問題について出題ミスがあったことが判明しました。このたびの出題ミスにより多大なご迷惑をお掛けしましたことにお詫び申し上げますとともに、経緯、対応等についてご報告申し上げます。

出題ミス発覚の経緯

6月18日（金）に問題集を制作している出版社より、スカラシップ特別入学試験問題の生物、一般入学試験B日程の数学問題について問合せがあり、早速調査委員会を設置し再点検した結果、以下の出題ミスがあることが判明しました。

内容

1. 平成21年12月23日（祝）実施スカラシップ特別入学試験「生物」の大問Ⅲ、問1。

ヒトの神経系は ア 神経系であり、脳と脊髄からなる イ 神経系と、脳から出る脳神経と脊髄からなる ウ 神経系からできている。（以下省略）

問1 ア ~ ウ に入る語句の組み合わせとして適切なものを以下の〔1〕～〔8〕より選択し、選択問題解答欄10にマークせよ。

- | | | | | | | | |
|-----|-------|------|------|-----|-------|------|------|
| 〔1〕 | ア：散在 | イ：中枢 | ウ：末梢 | 〔2〕 | ア：散在 | イ：末梢 | ウ：中枢 |
| 〔3〕 | ア：管状 | イ：中枢 | ウ：末梢 | 〔4〕 | ア：管状 | イ：末梢 | ウ：中枢 |
| 〔5〕 | ア：神経節 | イ：中枢 | ウ：末梢 | 〔6〕 | ア：神経節 | イ：末梢 | ウ：中枢 |
| 〔7〕 | ア：集中 | イ：中枢 | ウ：末梢 | 〔8〕 | ア：集中 | イ：末梢 | ウ：中枢 |

〔7〕ア：集中 イ：中枢 ウ：末梢を正答としましたが、〔3〕ア：管状 イ：中枢 ウ：末梢も正答になることが判明しました。

2. 平成22年2月19日（金）実施一般入学試験B日程「数学」の問Ⅶ

自然数全体の集合を N とする。集合 A, B は次の式で定義される。

$$A = \{x \mid x = 3m, 1 \leq m \leq 8, m \in N\}, B = \{x \mid x = 4n, 2 \leq n \leq 7, n \in N\},$$

このとき、 $A \cap B = (1, 3)$ 、 $\bar{A} \cap \bar{B} = (1, 4)$ である。ただし、 \bar{A} は A の補集合とする。

- 〔1〕 {12} 〔2〕 {12, 24} 〔3〕 {8, 16, 20, 28} 〔4〕 {3, 6, 9, 15, 18, 21}
- 〔5〕 {3, 6, 8, 9, 12, 15, 16, 18, 20, 21, 24, 28}

(1, 4) の正答を五つの選択肢のうちから一つ選ぶ問題で〔3〕 {8, 16, 20, 28} を正答としましたが、 $\bar{A} \cap \bar{B} = (1, 4)$ とすべきところを $\bar{A} \cap \bar{B} = (1, 4)$ とした誤植を見落とした為、正答がないことが判明しました。

対応について

- スカラシップ特別入学試験の「生物」につきましては、〔3〕にマークした受験者も正解とし、配点の3点を加算し再採点いたしましても、受験生に不利益が生じることはありませんでした。
- 一般入学試験B日程の「数学」につきましては、数学受験者全員問Ⅶを正解とし、配点である5点を加算し再採点した結果、2名の繰上げ合格候補者が合格基準に達することが判明しました。その2名につきましては、1名は3

月4日の時点で繰上げ合格となり、4月3日に入学、在籍しておりますが、もう1名の方は3月19日に繰上げ合格を辞退しております。なお、後者の1名に関しては、辞退後すぐに他大学に進学しておりますが、本学への入学意思を再度確認させて頂きましたところ、その意思はない旨のご連絡を頂戴しております。

再発防止について

今回発生いたしましたミスは出題者と点検者のケアレスミスであり、今後は更なるチェック体制の強化を図り、このような事態が二度と起こらないよう再発防止に努めて参りたいと思っております。

駒沢女子大学・駒沢女子短期大学
〒206-8511 東京都稲城市坂浜 238 番地
駒澤学園 入試センター
電話：042-350-7110
Fax：042-331-1910